

生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	「卵巢胚細胞性腫瘍の遺伝子変異に関する解析」		
1. 研究の目的と方法	双子の同胞間に同時期に卵巢胚細胞性腫瘍を発生したという稀有な症例から、両者およびその両親から血液検体を採取して体細胞系列の遺伝子変異を解析し、卵巢胚細胞性腫瘍をきたし得る遺伝子変異を同定します。また、当科で保有する「バイオバンク」（倫理委員会承認番号 28-083(8326) 倫理委員会確認）の中から、卵巢胚細胞性腫瘍患者を対象に既存の血液や腫瘍を組み合わせることで、さらに候補遺伝子の絞り込みを行います。		
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2026年3月31日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	胚細胞性腫瘍に罹患した当事者である2人、およびその両親の2人を合わせて4例並びに、2013年1月1日から2023年10月31日までの間に慈恵医大関連4病院で治療を受けた卵巢胚細胞性腫瘍患者で、「婦人科腫瘍の発生、進展に関与する遺伝子変化の検討とその分子標的治療の開発-バイオリソース・データベースの構築-」（倫理委員会承認番号 28-083(8326)）に同意取得された方。		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	手術の時に切除した組織、血液	
	(2) 試料の取得の方法	卵巢腫瘍の診断基準に準じて、手術の時に切除した組織を用いて最終的な診断を行います。 血液検体に関しては、通常検査の採血時の余った血液をいただきます。	
	(3) 情報の種類	診断名、性別、年齢、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査、病理学的検査）	
	(4) 情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 当施設の 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学 産婦人科学講座
		氏名	岡本 愛光
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥	
	(3) 当施設の 試料・情報の 管理責任者	東京慈恵会医科大学 産婦人科学講座 助教 濱田 倫太郎	
(4) 共同で研究 を実施する 施設とその	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。		

	責任者	
<p>6. 試料・情報を他機関とやり取りすることについて</p>		<p>この研究で収集・取得された試料・情報は患者さんのお名前やカルテ番号などの個人情報を削除し、新たに研究用の ID や番号をつけてから、以下の機関に以下の方法で送られ、詳しく解析されます。</p> <p>提供先：アメリエフ株式会社</p> <p>提供方法：追跡可能な方法で送付し、パスワードを掛けたハードディスクドライブでデータを受け取ります。</p> <p>試料・情報の利用または提供予定開始日：2023 年 2 月頃～</p> <p>特定の個人を識別できないように加工する際は、個人情報と研究用 ID・番号を対応させる表や記録（以下、対応表）を作成します。</p> <p>対応表は、研究対象者からの同意撤回や参加拒否の申し出があった場合など、必要に応じて仮名加工情報を個人情報に復元し、該当の研究対象者の試料や情報を破棄する際に用いられる。対応表の管理は、研究責任者の責任の下、研究機関内の施錠されたキャビネット内、あるいは、パスワードでロックされたパソコン上で保管されます。</p> <p>なお、本研究の結果を公表する際は、特定の研究対象者を識別できる情報を含まないようにします。</p>
<p>【問い合わせ先】</p>		<p>機関名：東京慈恵会医科大学 産婦人科学講座</p> <p>研究責任者 濱田 倫太郎（はまだ りんたろう）</p> <p>附属柏病院：04-7164-1111（内線：2183）</p> <p>対応時間：午前9時～午後4時／休診日を除く</p> <p>遺伝子解析研究苦情相談窓口</p> <p>電話番号：03-5400-1234（午前9時～午後5時／休日を除く）</p>

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。